

令和4年度一般会計決算の概要

● 歳入

市税全体は、新型コロナウイルス感染症による特例措置の終了に伴い、固定資産税が4億1,165万円増となったことなどにより、9億2,030万円の増となりました。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症に伴う子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金が20億1,398万円減となったことなどにより、11億1,889万円の減となる一方、分担金及び負担金は新火葬場整備運営事業に係る構成市負担金の増などにより、19億2,903万円の増となり、歳入決算額は、前年度比27億1,375万円、5.1%の増となりました。

● 歳出

歳出については、令和元年度から4か年の市政運営の道標としてスタートした第2次基本計画に則り、オーガニックなまちづくりのステップアップを図り、持続可能なまちづくりを推進するための施策に取り組みました。

主な内容としては、新型コロナワクチンの個別接種、及び集団接種の体制維持による、保険医療の充実、高規格救急自動車、及び救助工作車の更新整備による消防・救急救助体制の充実、低所得の世帯や物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金、及び子育て応援臨時特別給付金を支給することによる、子育て支援の充実など基本構想に定めるまちづくりの基本方向に従い各種事業を実施した結果、歳出決算額は、前年度比29億4,528万円、5.8%の増となりました。

● 収支の差し引き額

令和5年度に繰り越した事業を除く実質収支額は、15億9,220万円の黒字となりました(実質収支額のうち、12億9,220万円は財政調整基金へ積み立てました。)